

1. 救助隊の体制

- ・副隊長が、三野さん→川尻さんに
- ・あけぼのの役員が、三野さん→前川さんに
- ・新入隊員 藤田さん（高松） 遠藤さん（あけぼの） 高木さん（高松）
- ・退会隊員 岩倉さん（あけぼの）

2. 総会の反省

○隊員名簿の更新（メールアドレス等）。

- 総会の懸念事項
- ・クラブ局コールサインの再取得を県連で＝市原さんが新規に申請。
 - ・ホームページを管理する担当を決める＝柏原さんかにメールを送ると掲載する。
 - ・出前講習について早目に日程をつめていく。
 - ・出前講習の講師が少ないので増やしていく＝
技術委員会（6／23）加藤・川尻・佐藤な
 - ・模擬捜索訓練の通信手段でスマホの活用も検討する＝安東・川尻マニュアル作成
 - ・隊員のスキル・・・救助活動のベース一覧を作成。

- 出 前 講 習
- 6月10日：愛媛県宇和町＝まさかの時の対処方法（坂上・前田）
 - 6月17日：あけぼの＝応急処置（佐藤た）
 - 7月22日：塩飽＝ロープワーク（三野ゆ）
 - 9月09日：善通寺＝ロープワーク（坂上）
 - 10月14日：さかいで＝ロープワーク（未定→次回に検討）

3. 救助隊合同トレーニングについて

- 日 時 6月30日（土）10時～7月1日（日）16時
- 場 所 ワサビ沢
- 内 容 1日：基礎技術の確認等 2日：負傷者の搬出・搬送訓練（ロールプレイングを使う）
- 共同装備 ・100mロープ ・カラビナ ・ソウンスリング ・ツェルト（救助隊）
- 個人装備 ・沢登りの装備 ・ツェルト ・救急用品 ・無線機（持っている人）
- 各 会 ・9mmロープ2本 ・テント
- 食 事 各会（30日の夜：焼き肉の材料・コンロ等を各パーティーで準備・調達、1日の朝食）
- 参加集約 6月25日（月）
- ★香川の人は、善通寺山の会事務所に8時に集合して乗り合わせて行きます。

救助隊合同トレーニング in ワサビ沢

（記：宮武 淳）

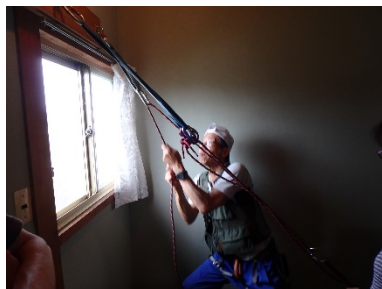
- 日 時 6月30日（土）～7月1日（日）
- 参加者 30日＝15名
1日＝15名
（あけぼの 3名、五色 3名、善通寺 5名、高松 3名、松山労山 1名
南予のぼろう 1名、山の子 1名）

6月30日から7月1日にかけて、救助隊の沢での搬出トレーニングが北面のワサビ沢で行われました。

30日は、善通寺山の会事務所に集合しましたが、着いたとたんに雨が強くなり、車から降りれない状況でしたが、予定通りに出発しました。10時過ぎにワサビ沢の駐車場に着いたときも雨が降り続いていて、計画の変更を余儀なくされました。

急遽、観音寺のあけぼの山の会事務所に移動することにしました。12時40分から事務所の室内で開始しました。まずは、合同トレーニングの資料に基づいて、①カラビナ ②レスキューに必要なロープの結び方 ③支点作成(流動分散と固定分散の使い分け) ④引き上げシステム(1/3システム・1/5システム)についてそれぞれ講習がありました。特に、引き上げシステムでは、階段の支点を使って実技を行いました。

また、ムンターヒッチでのセカンドの引き上げのときの固定については大いに参考になりました。夜は、事務所の裏庭で各会毎にバーベキューを食べて、大いに盛り上がりました。



1/3で引き上げて登山道を登山口まで搬送しました。



1日は、移動して、8時過ぎからワサビ沢で実技をしました。沢でのコンパニオンレスキューということで、**<パーティを組んで遡行中、倒れた人を発見する>**という想定でした。A・B各班に分かれて、実施しました。終了後、骨盤骨折の応急処置の講習がありました。

最後に、斜面を各班毎に背負い搬送で斜面を



駐車場に戻って、最後に3SABCDEの実技講習を受けて、「本日終了」となりました。

<まとめ> 沢では、絶えず小雨が降り続いていて、沢の水の流れは速かったものの、実施できました。香川に帰ってくると快晴で梅雨明けを思わせるような天気でした。誰も怪我することなく無事に終わって良かったです。

救助隊合同トレーニング報告書

2018年7月6日

所属	高松労山	氏名	高木広貴
日時	2018/06/30 ~ 2018/7/1		
実施場所	6/30：観音寺あけぼの山の会事務所 7/1：わさび谷(四国中央市、浦山川)		
実施内容	・負傷者に発見から応急処置、搬出、搬送までの一連の流れで実施。 ・コンパニオンレスキュー 《1日目》 12:30 ~ 16:30 雨天のため計画を変更し、観音寺あけぼの山の会事務所(室内)にて実施。 資料に沿って、基礎知識と基礎技術を確認した。 ① カラビナ 破断特性、2点荷重の原則、回しがけ禁止 ② レスキューに必要なロープの結び方 フィギュアエイト(オンアバイト/フォロースルー)、クローブヒッチ、ムンターヒッチ、		

	ナインノット、オーバーハンドノット、ダブルフィッシャーマンズノット、マッシャー プルージック、ブリッジプルージック、クレイムハイス、シートベント、ワイヤー南京 ③ 支点作成 支点に加わる力、支点間の角度、支点の種類(流動/分散)、支点の数 ④ 引き上げシステム 1/3, 1/5 システム ⑤ 負傷者の搬送 背負い搬送の方法(ロープを使った背負い搬送) 《2 日目》 8:00 ～ 13:00 わさび沢に移動。2 班に分かれ、コンパニオンレスキューを実施。 応急処置、負傷者のグループ搬出/搬送をシミュレーションした。 ① シナリオ パーティーを組んで遡行中、倒れた人を発見。 ② 課題 ・3SABCDE による重症度確認とゴール設定 ・応急処置 ・メンバーの力量把握 ・メンバーの力量と装備から、何が行えるかを判断 ・役割分担 ・システムの多重化 ・消防や警察とのスムーズな連絡 駐車場に戻った後、3SABCDE のポイントを再度確認した。
成果/感想	今回、救助隊のトレーニングに初めて参加させて頂いた。1 日目は雨天で急遽場所が室内に変更になったことが功を奏し、参加者の方々の振る舞いを参考にさせて頂きながら、自分自身の不足部分を確認することができた。特にロープワーク(シートベント、ムンターヒッチ固定、ワイヤー 南京)や引き上げシステム(1/3, 1/5)は十分に理解するまで練習させて頂いた。 2 日目は天候がやや回復したので現地へ移動して実習となった。負傷者発見から搬出、搬送まで一連の流れを確認した。実際の現場では付け焼き刃の知識や技術では太刀打ちできず、行動に戸惑う場面が少なからずあった。それでも、即席のチームメンバーで議論しながらレスキューの一連の流れを実施できたことは今回のトレーニングの何よりの成果だと考えている。 救助の場面に遭遇することは滅多にないかもしれない。しかしながら、今回のようなトレーニングを経験することで、山行の過程で発生するかもしれない不測の事態への対応力/応用力が養われると思う。 また、他会の方々と行動をともにすることで色々と参考になることがあり、私個人としてはとても有意義な時間となった。

次回の役員会について

○日 程	2018 年 7 月 31 日 (火) 19 時 30 分～
○場 所	高松県連事務所
○議題内容	7 月の合同トレーニングの反省、9 月の合同トレーニングの計画について